

かんだき通信

知ってください

2023年4月号

地域密着型 サービス

『看護小規模多機能のご利用ケース事例をご紹介します』

『どうしたら在宅に戻れるだろう』～在宅復帰での悪化予防の事例～

82歳 女性 要介護度2 老夫婦世帯 娘様遠方に居住

●診断
蜂窩織炎
敗血症
認知症



●相談経緯

病院の入退院支援センターより
「退院後も蜂窩織炎の洗浄、処置が
必要だが、自宅に戻るとやらなくなり
悪化が心配なので頼めないか」



●ご本人の意向

自宅夫婦で暮らしたい

●ご主人の意向

一緒に暮らしたいけど、自分の
ことで精一杯



●経過

- ・訪問看護、訪問診療・訪問介護
必要ないとサービス入れず
- ・デイサービスのみ利用も体調
不良と共に休みがちに
- ・自宅で動けなくなり救急搬送

病院の相談を受けて

『看護小規模ではこんな提案をした』



提案内容

- ・一旦、泊りを入れ、家の状態を整えた上で帰宅
- ・本人に、「自宅で過ごすにはこれ以上わるくならないよう
訪問診療と訪問看護必要」な旨説明
- ・主治医決定後、処置の頻度を決定させ、帰宅後
訪問看護開始
- ・家庭での困りごとを訪問介護で汲み取る

病院は『早速、提案してみます！』
との返事。



1週間後

娘様に病院に来ていただきカンファレンス

娘様の意向
施設も考えたが、自宅で過ごせる可能性が
あるなら取り組みたい。協力します。

次回、娘様がいらっしゃる日を目標に退院調整



看護小規模は

紹介動画
見てね！

退院直後で状態が不安定な方、在宅での看取り支援
など、ご自宅での療養生活を支えるサービスです。

結果、こんな効果が

- ・定期的な洗浄・処置が出来、状態は改善傾向
- ・家に人が入るのを嫌がっていたが、普段通いで会う
スタッフのため受け入れてくれている
- ・訪問介護で家庭内の変化をサービス内、家族に共有

ご主人にはどこまでできるか確認しつつ出来ること
をお願いしている

少しずつですが関係性は出来てきています。
日頃の状況について、娘様にも共有できており安心を得て
います。ご主人の様子も伝えているので、ご主人の状態悪化時
も迅速に対応できそうです。



看護小規模多機能ふくしのまち上尾



上尾市壱丁目北10-3

☎ 048-725-6662

✉ coageo_sc11@youism.saint-care.com

担当： 金田（所長） 矢島（CM）

